

平成30年度第1回宇都宮市視聴覚ライブラリー運営委員会会議録

- 1 日 時 平成30年8月28日(火) 午後2時～午後3時
- 2 場 所 宇都宮市立東図書館集会室
- 3 出席者
〔委員〕 新井由紀子委員, 野島忠夫委員, 手塚浩委員, 手塚宏行委員,
福永修武委員, 山口康夫委員, 飯田真也委員, 谷口幸男委員,
川島芳昭委員 (欠席1名:馬場伸裕委員)
〔事務局〕 視聴覚ライブラリー高橋所長ほか2名
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 なし
- 6 議 事

(1) 報告事項

- ア 平成29年度視聴覚ライブラリー利用状況について
- イ 平成29年度視聴覚ライブラリー事業実績について
- ウ 平成29年度視聴覚ライブラリー決算について
- エ 平成30年度視聴覚ライブラリー運営目標について
- オ 平成30年度視聴覚ライブラリー事業計画について
- カ 平成30年度視聴覚ライブラリー予算について

(2) その他

- ・第2回運営委員会の日程について

7 発言の要旨

川島委員長 : (2) 報告事項の「ア 平成29年度視聴覚ライブラリー利用状況」「イ 平成29年度視聴覚ライブラリー事業実績」及び「ウ 平成29年度視聴覚ライブラリー決算」の3件については関連があるので、事務局から一括して説明をお願いします。

事務局 : 資料1・2・3に基づき一括して説明

委員長 : ただいま事務局から説明がありましたが、この件について何かご質問・ご意見はありますか。

委員長 : 補足で説明をお願いいたします。

2点あります。1点目は、資料1-4の教材制作室1と2で利用状況の件数に大きな違いがあるが、何か特別な理由があるのですか。

2点目は、資料2の(3)講座・研修等で、4の視聴覚機器貸出時研修・5の出張講習会(団体、施設向け)・6の録音機器操作研修(スタジオ利用者向け)・8のパソコン室施設利用者の研修(パソコン講座主催者向け)の計画回数と実施回数が大きく変わっているが、何か理由があるのですか。

事務局 : 1点目の教材制作室1と2の利用状況件数の違いですが、教材制作室1は、完成済みのDVDの焼き付け等作業が中心な部屋であり、利用者が少なかったものです。教材制作室2は、映像編集作業が中心の部屋です。とくに、視聴覚教材制作委員会での編集作業は、昨年度毎週金曜日

に利用し、実施回数が多かったことと、卒園式・卒業式での、保護者の方・先生方の利用が増えたため、そこに違いがあります。

2点目の資料2(3)講座・研修等で、4の視聴覚機器貸出時研修・5の出張講習会(団体、施設向け)・6の録音機器操作研修(スタジオ利用者向け)計画回数と実施回数の違いですが、4の視聴覚機器貸出時研修については、機器等の貸出相手が、常連の団体がほとんどで、初めて指導する団体は少なかったため、ほとんど貸出業務だけで済んでおり、回数が少なくなっています。5の出張講習会(団体、施設向け)も、現場に行き操作指導をしてほしいという依頼も同様に少なく、ほとんど現場で操作・セッティングができる団体の方ばかりでした。6の録音機器操作研修(スタジオ利用者向け)も、全く初めての方が少なく、常連の方々がほとんどであったことから、指導回数が減少しました。8のパソコン室施設利用者の研修(パソコン講座主催者向け)も、シルバー大学を卒業した6団体の方が主に利用されています。新規での利用団体についても操作について指導を要することがなかったため、標記の通り実施回数が少なくなっています。

委員長 : ほかに何かございませんか。

手塚(浩)委員 : 2点質問します。1点目は、資料1-1の貸出事業で、その他AV機材の合計が3,747件となっていますが、具体的にどのようなものですか。2点目は、4人の小学校教員が小学校理科に係わる視聴覚教材を作成したとのことで、制作に係わる回数が12回とのことですが、具体的にどのような手順で行っていたのでしょうか、完成後の配布方法はどのようにしていますか。

事務局 : 資料1-1のその他AV機材の内訳についてですが、スクリーン・マイクスタンド・マイク・小学校・中学校の運動会で使う、大きいスピーカー、ミキサーやHDMIケーブルなど、細かい附属品等の貸出合計です。

制作に係わる回数が12回の内訳ですが、夏休みの期間中に2回の撮影を行いました。1回目は、宇都宮市外の鬼怒川・思川・田川などで撮影し、2回目は、宇都宮市内の田川・姿川・山田川で撮影を行いました。撮影許可は、国土交通省の河川事務所・県の河川課にお願いして事前の許可をいただきスムーズに撮影ができました。12回の制作の内訳ですが、9月以降に毎週金曜日に4人の先生に集まいただき、教材制作室2で編集を行い、平成29年の12月末には作品が完成し、平成30年1月県の視聴覚教材コンクールに出品いたしました。完成したDVDは、各小学校に配布し、周知についてはAVLうつつのみや平成30年4月号にも作品紹介をし、ライブラリーのホームページにも紹介しております。

委員長 : 他にありませんか。

ないようですので、それでは、次に移りたいと思います。

「エ 平成30年度視聴覚ライブラリー運営目標」「オ 平成30年度視聴覚ライブラリー事業計画」及び「カ 平成30年度視聴覚ライブラリー予算」の3件については関連があるので、事務局から一括して説明をお願いします。

事務局 : 資料4・5・6に基づき一括して説明

- 委員長 : ただいま事務局から説明がありました。この件について何かご質問・ご意見はありますか。
- 委員長 : 補足していただきたいのですが、資料5の平成30年度視聴覚ライブラリー事業計画で、(4)「教材等の制作」で、教材制作委員の先生が集まらず、今年度実施できるかどうか分からないとの状況とのことですが、現状として今年度実施できそうなのか、できないのか見通しを教えてください。もしできないという見通しであれば、各事業の総合計から外さざるを得ないのかなというところがあるのですが。その点補足をお願いいたします。
- 事務局 : (4)「教材等の制作」は、当初実施する方向で動いていました。3人から4人の先生で活動しようと考えていたのですが、いつも引き受けてくださっていた委員の先生が都合により参加できなくなり、他の先生を探すため、各方面の担当の先生に依頼をし、その先生に打診をしたのですが、業務が忙しいとのことであったため、人数が集まらず、今年度は実施できない見通しです。
川島委員長ご指摘の、各事業の総合計からも見直さざるを得ない状況です。
- 委員長 : これについて、学校側からのご要望があればと思いますがいかがでしょうか。
- 新井委員 : 今のお話を聞いて納得いたしました。先生方がお忙しい中で作成した視聴覚教材ですので、利用する方も自覚して学校でもっと活用して広めたいです。
- 委員長 : 小学校の先生も難しいですね。視聴覚教材制作委員会は小学校の先生だけですか。中学校・高等学校の先生は絡んでいるのでしょうか。
- 事務局 : サポートとして視聴覚ライブラリーの職員が手伝っていますが、中学校・高等学校の先生は絡んではいません。
- 委員長 : 中学校・高等学校では、こういう事業を起こす予定はないのでしょうか。
- 野島委員 : 高等学校で、教材作成はあまりないです。各学校でやっていたりすることが多いです。各教科の担当者が自分の教材を作っており、自分の授業のために作成しています。
- 福永委員 : 我々が授業で展開しての教材は各自で制作して、もの作りを含めてやっていますが、みんなで共有するような教材までは手が回らないのが現状です。
- 手塚(宏)委員 : 小学校では教科で地域を学ぶことがありますが、中学校の場合は共通に地域を学ぶものがないので難しいです。編集作業を覚えるのはよいと思いますが、出来た教材の活用となると難しいです。
- 委員長 : 計画がこのままなくなるのはもったいないです。何らかの形で継続できる方向を模索できたらよいのですが。
- 新井委員 : 教材制作委員のメンバー構成は、どのようになっているのでしょうか。長くやっている先生がいるのでしょうか。
- 事務局 : 長くやっておられる先生もおります。しかし今回、急遽都合により辞退となってしまいました。
- 新井委員 : そうですか。

- 委員長 : そう考えますとなかなか難しいですね。なくさない様に何らかの模索をしていただければと思います。運営委員会の席で決められるものでもありませんので、関係する方々で考えていただければと思います。
その他何かございませんか。
- 飯田委員 : 小学校の先生方の教材制作委員会の大変な事情も重々承知しているのですが、先生方がすごく凝った自分たちにあった教材作品を制作していると思います。そこで共通教材として、他の皆さんでも使えるように、視聴覚ライブラリーで、貸出せるようにすれば、先生方の負担も減るのではないかと思います。教材制作委員会もなくさずに、続けてほしいなと思います。
8ミリフィルムに私の昔の映像が残っていたので、8ミリフィルムのスキャナーを購入しました。こうした8ミリフィルムやビデオテープの資料がだんだんなくなってしまうのではないかと心配です。昔の宇都宮の映像が残っていないかと探しました。8ミリフィルムやビデオテープの収集を拡大して映像を残していく必要があるのではと感じています。
- 委員長 : それについて事務局から何かありませんか。
- 事務局 : 視聴覚ライブラリーのボランティアで「うつのみやを映す会」がごさいます。この会が中心となって宇都宮市内の映像の撮影をしています。
8ミリフィルムの収集ですが、ライブラリーでもお預かりしているのですが、映像に写っているのが、家族の映像で、街並みが写っているのがほとんどありません。宇都宮市立視聴覚ライブラリーのみならず、他の自治体でも8ミリフィルムを収集しているのですが、ほとんど街並みが写っていません。収集したいのですが、どこまで残したらよいのか悩んでいるところです。当ライブラリーのみならず、各自治体のライブラリーでの検討課題となっています。
- 委員長 : 他に何かございませんか。
- 山口委員 : 宇都宮市には中央・東・南図書館と3館あります。3館が個々に、古い映像を独自に集めたり、提供を受けたりして持っているのではなく、3館が共有して古い映像があると伝えることで、市民に周知できるのではないかと考えます。視聴覚ライブラリー全体で、映像を収集していると告知することで、蔵や納戸の片隅に隠れている8ミリフィルムやビデオテープが出てくるのではないのでしょうか。視聴覚ライブラリーの全体的な流れとして、収集を目的とするのであれば告知をする必要があるのではないのでしょうか。
- 事務局 : 映像の収集を行っているのは、視聴覚ライブラリーのみです。先程申し上げた通り、8ミリフィルムを収集してもご家族の映像のみで、街並みはほとんど写っておりません。映像そのものを公開すると、個人の顔が特定されてしまい、肖像権が発生してしまいます。公開そのものも難しいのが現状です。
- 山口委員 : 風景の部分だけでも切り取って、スライドにして、何年代のものとして編集して、風景だけでも紹介してほしいです。動く映像を残すのは難しいと思いますので、ぜひ検討していただきたいと思います。
- 委員長 : 貴重なお話しですので、今後事務局としても検討していただきたいと思います。
他に何かございませんか。
ないようですので、この議題はこれでよろしいでしょうか。

次の「(2) その他」に進みます。委員の皆様、何かありますか。
ないようですので事務局から何かございますか。

事務局 : 次回の会議開催ですが、例年通り2月開催とし、具体的な日程については委員長と協議して決めていきたいと考えておりますので、よろしく願います。

委員長 : ただいま事務局から次回の会議について説明がありました。2月にご都合の悪い先生はおられますか。

先のお話をしてもわからないと存じますので、具体的な日程については、あらためて私と事務局で調整いたします。

それでは、委員の皆様のご協力により、予定されていた議題はすべて終了いたしました。ありがとうございます。事務局にお返しいたします。

事務局 : 以上をもちまして「平成30年度第1回視聴覚ライブラリー運営委員会」を閉会いたします。熱心なご審議をいただき、ありがとうございました。